

## 「第18回因州和紙あかり展」入賞作品選考審査結果

日時 令和4年1月7日（金）  
午後1時～午後4時  
場所 鳥取市あおや和紙工房

審査員長 石谷 孝二 氏（鳥取大学名誉教授）  
審査員 山ノ内芳彦 氏（木工・灯り作家）  
審査員 遠藤由美子 氏（公立鳥取環境大学副学長）

### ■総 評

一般部門には県内外より 32 点、ジュニア部門が 24 点の計 56 点の作品が集まった。大賞はシンプルな中に大らかな表現力があり、和紙の持つ美しさを引き出した作品と評価された。準大賞・佳作には、和紙のイメージを打破しインパクトある作品が選出された。

和紙や紙の持つ特色を生かしながら日々の生活の中の糧となるような創意ある意欲作を今後も期待したい。

### ■一般部門 講評



### 大 賞 【開花】

鬼頭 昌大（愛知県名古屋市）

ダイナミックで存在感があり、光と影のバランスが和紙の持つ美しさを引き出している。土台にもう一工夫あれば、更に完成度が高まると思われる。吊り下げ式にするなど、新しい展開も期待させる作品である。



**準大賞** 【廻る】

**538** (岐阜県関市)

こよりが鳥の羽根のような印象を持ち、規則性があるようで独特な自由さがある。こよりの使い方に巧みさと新鮮さがあり、あかり作品の可能性を広げた。完成度の高さも評価された。



**佳作** 【蒸気機関車(夜汽車)】

**酒井 秀樹** (愛媛県今治市)

メルヘンの世界に誘う作品である。煙突から出る煙や線路など細部に至るまで作りこまれている。また、色和紙の使い方が非常に巧みである。



**佳作** 【月神】

**竹歳 真帆** (鳥取県倉吉市)

じっくりと編み込まれた和紙と垂れ下がる和紙とで出来たオブジェ状の造形は新鮮である。光源によってできた影も魅力的である。

■ジュニア部門 講評



**入 賞 [傘]**

**井上 日彩 (鳥取市立気高中学校)**

シンプルな組み合わせが成功している作品。貝殻や流木の使い方がとても上手であると評価された。



**入 賞 [とりのミュージックフェスティバル]**

**山本 柚花 (鳥取市立気高中学校)**

木に止まってる小鳥たちが歌っているような楽しい雰囲気である。貝殻の取り付け方も評価された。



**入 賞 [にじいろ sakana のるいか]**

**サポートルーム「すなはま」**

大作であり、さらに共同で作った良さがでていてまとまっている。色合いがファンタジーで楽しい作品と評価された。

■あおや和紙工房賞（鳥取県内の応募作品対象）



**入賞** [～流木と廃材を活用して～ 焚き火]  
鳥取県立青谷高等学校（鳥取県鳥取市）

色の表情が実に味わい深く、流木や廃材を活用しながら、非常に丁寧な仕上がりに作り込まれている作品。



**入賞** [藍の惑星]  
鳥取県立智頭農林高等学校  
生活デザインコース 谷口葵（鳥取県八頭郡）

和紙の球体だけではなく、周りの植物にも藍色の染色が施されている点や、土台や敷物にも非常にセンスが感じられる作品。